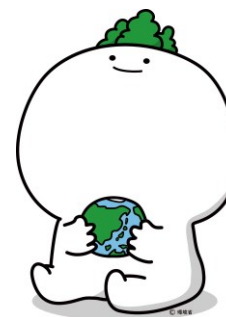




マッチングに係るアンケート回答結果の整理



- マッチングに参加いただいた支援者及び被支援者に向け、今回の試行に係るアンケートを実施した。
- **支援者からは19者中17者から、被支援者からは28者中22者から**回答いただいた。
- 支援者には主に支援証明書制度に係る内容について、被支援者には主にマッチングに係る内容についてご回答いただいた。

支援者への主な質問内容

被支援者への主な質問内容

参加目的

- ・ 参加目的
- ・ 目的は達成できたか

- ・ 参加目的
- ・ 目的は達成できたか

マッチング 事前情報

- ・ 提供された情報は十分だったか
- ・ 動画は支援先選定に役立ったか
- ・ 選定しやすくなるための情報

- ・ 動画は新規作成したか
- ・ 動画を作成するにあたっての苦労した点
- ・ 希望する支援の伝え方等の改善点

マッチング 試行時

- ・ 被支援者との打合せの開催可否
- ・ 打合せで困ったこと
- ・ 支援実施の検討の継続の可否とその理由

- ・ 支援者との打合せの開催可否
- ・ 打合せで困ったこと
- ・ 支援実施の検討の継続の可否とその理由

支援証明書 制度

- ・ 支援証明書の取得を希望するか
- ・ 支援証明書の用途
- ・ 支援証明書運用時の対象サイト・活動
- ・ 支援証明書の基本事項が活用できそうか
- ・ ロジックモデルの記載で苦労した点
- ・ 支援証明書の特記事項欄の記載内容
- ・ 支援証明書の発行額

- ・ 被支援者視点での支援証明書制度に対する意見
- ・ 支援証明書の外部公開における懸念事項

今後の 支援検討

- ・ マッチング相手先との支援実施の可能性

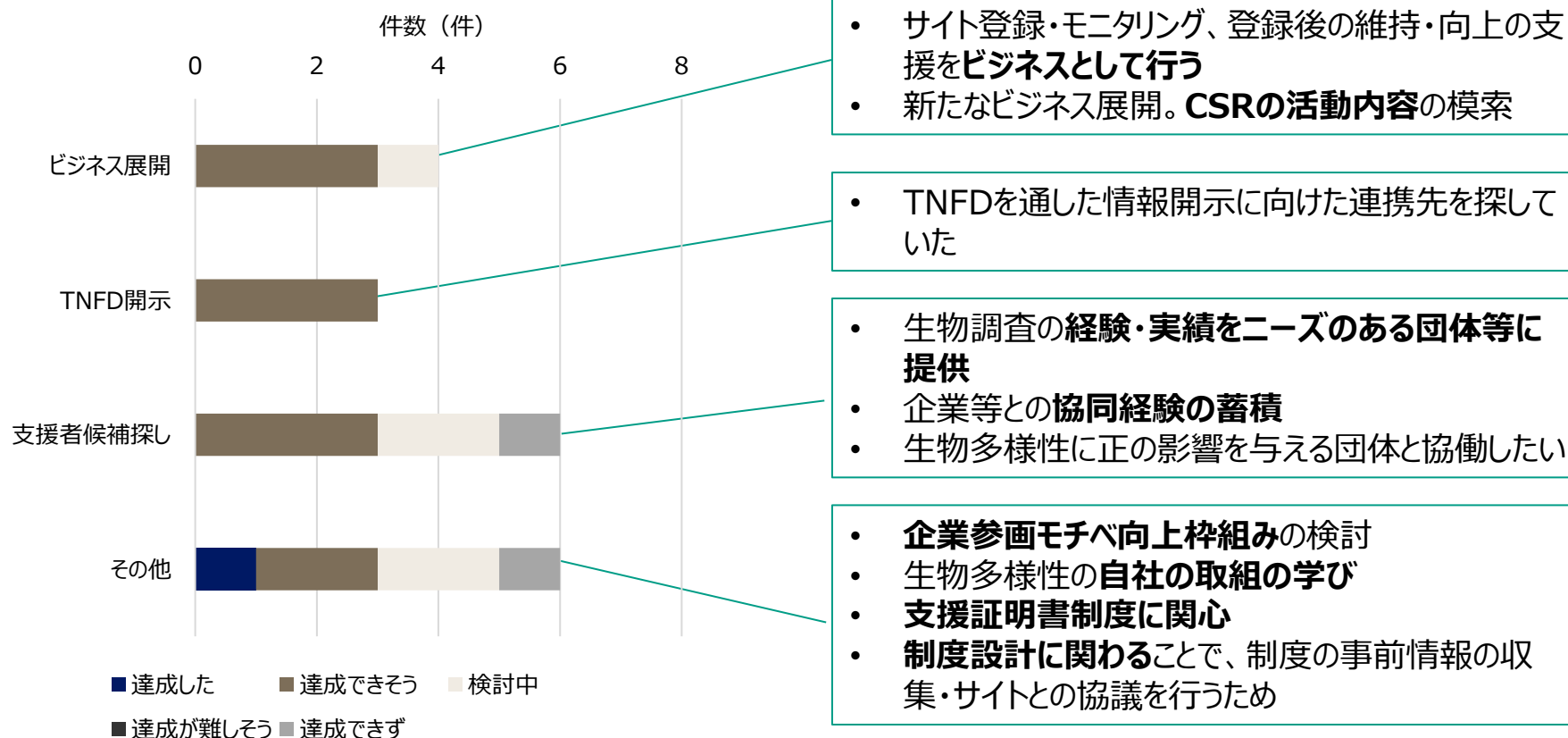
-

支援者向けアンケートの回答

支援者向けアンケート（参加目的）

- 主な参加目的は「ビジネス展開」「TNFD開示」「情報発信」「支援者候補探し」「その他」の4つに分類。
- 2件を除き、参加目的は「検討中」若しくは「達成できそう」といった回答をいただいた。

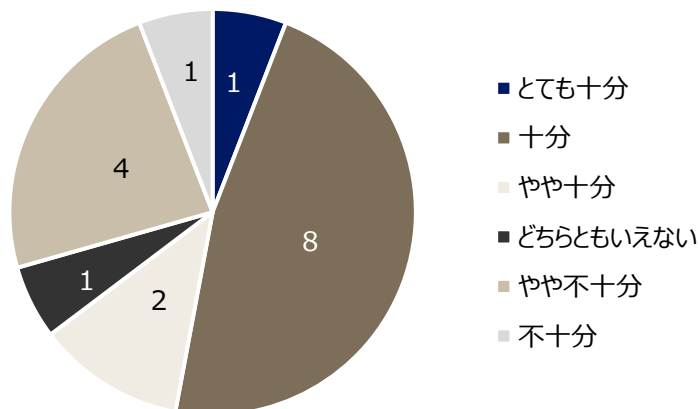
質問2・3：参加目的、及びその目的は達成できるか



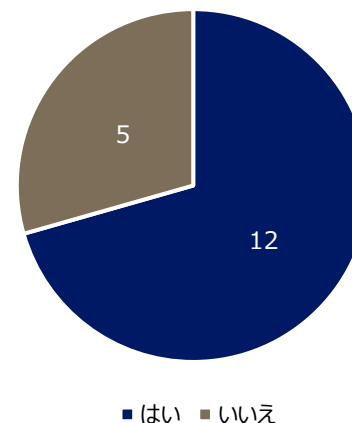
※複数回答

- 事前情報は「とても十分」「十分」「やや十分」が半数以上を占めた。
- 追加で得たい情報として、サイトの住所や被支援者が具体的に求める支援（有償か無償か等）が主に挙げられた。

質問 4：提供されていた事前情報は十分か



質問 5：動画は役立ったか



質問 6：どのような事前情報があると選定しやすくなるか

サイト自体に係る情報

- ・ サイト住所
- ・ カテゴリー（森林・水域等）・エリアの特性
- ・ サイトの用途
- ・ 活動推進体制・活動内容
- ・ 活動時期
- ・ サイトの課題

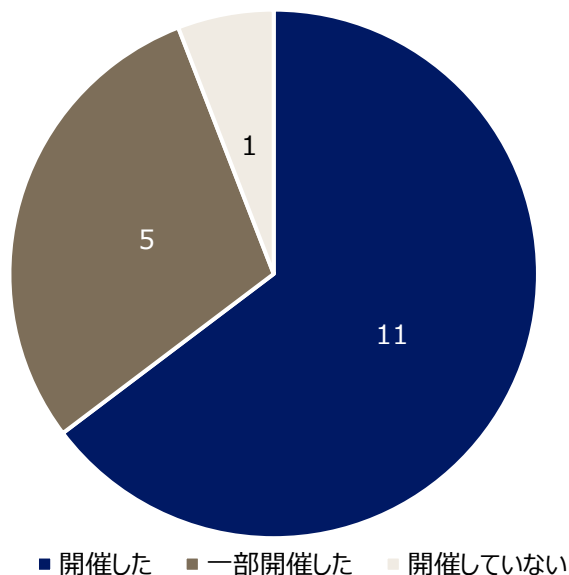
被支援者に係る情報

- ・ 被支援者が具体的に求めている支援（有償か無償かが分かると良い）
- ・ 希望する支援の種類とリンクした支援内容
- ・ 主張が伝わり、賛同できれば良い

※複数回答

- マッチングが不成立となった組合せを除き、大半の支援者が打合せを実施した。
- 打合せ時、被支援者の制度に対する理解不足や把握する情報の範囲、及び連絡手段等ロジ回りで困惑した旨も回答いただいた。

質問 7：サイトとの打合せ



質問 8：打合せ時に困ったこと

制度に対する理解

- ・ **趣旨を理解していない支援先**があり、前提の説明に時間を要した。
- ・ 「支援証明書案は、実際に支援をするか否かは問わない」方針が伝わっていなかった。

事前情報との差異

- ・ 支援先とのメールでの連絡時、**記載内容と異なる内容を求められた。**

被支援者の把握する情報の範囲

- ・ 支援先がどこまで情報を把握しているか不明である。

その他

- ・ 先方の**迷惑メールに入っていた**。複数の連絡手段を提示いただきたい。
- ・ 連絡が全然来なかったため、**HP等で電話番号を検索**することとなった。
- ・ 時間が短かった。

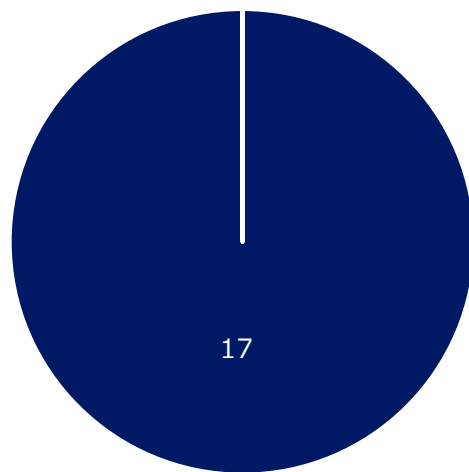
- 支援を継続する理由として、支援内容の一致、及び合意が取れたことが主に挙げられた。
- 一方、支援を継続しない理由として、有償・無償等の条件の食い違いのほかに、そもそもの支援内容の食い違い等が挙げられた。

質問 9・10：支援を今後継続する・しない理由



- 全ての法人・団体より、支援証明書は取得したい旨回答いただいた。
- 支援証明書の活用目的につき、主にTNFD活用・企業価値向上が挙げられ、他にビジネス展開や取組の外部への発信も回答いただいた。

質問11：支援証明書の取得の希望



■ 希望する

質問12：支援証明書の活用目的

TNFDへの活用・企業価値

- ・ **TNFD活用**
- ・ **企業価値向上**
- ・ **CSR活動への兼用**
- ・ 30by30目標達成のための貢献に対するエビデンス
- ・ 法人としての**社会貢献の証明**
- ・ **ESG評価機関への回答**を通して効果を確認

ビジネス展開

- ・ **自社の1事業**として位置づけ
- ・ **営業等**に利用

取組の発信

- ・ 取組の内外への発信
- ・ **HP掲載**

技術の実証

- ・ 自然共生サイトの取組支援の**技術力の実証**

※複数回答

- 支援をしたいサイトとして、自社からの近隣サイトに対して希望する回答が多く占めた。
- 支援証明書の基本事項の証明では、TNFDへの活用やロジックモデルの記載に関する意見を主に頂いた。

質問13：支援証明書制度が本格運用を開始した際に支援したいサイト

【場所】

近隣のサイト

- ・ 自社営業拠点付近のサイト
- ・ 近隣の企業

連携できればどこでも良い

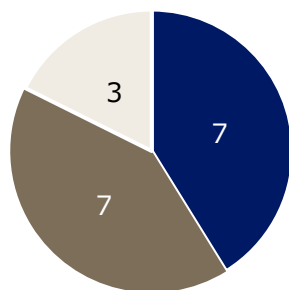
- ・ 全国規模で連携可能性があるサイト
- ・ 自社サービスを提供できればどこでも

【サイトの特性】

- ・ 本業に関わる活動ができるサイト
- ・ 支援内容に合致した企業・自治体
- ・ 気候変動緩和・適応に貢献する活動ができるサイト
- ・ 経済的な負担が生じないサイト
- ・ 自社の技術が活用できるサイト

※複数回答

質問14：支援証明書の基本事項に記載の支援内容が証明されれば、目的に向けて活用できるか



- 活用できる
- 活用できない
- 分からない

活用できる

- ・ **アウトカムが証明されればESG評価として十分な価値がある。**インプット・アウトプットを記載できれば良い。

活用できない

- ・ **ロジックモデルも支援証明書に記載すべき。**
- ・ TNFD活用を鑑みると、**特記事項欄の記載内容のフォーマット化**が望ましい。
- ・ **自社サイト・事業との関連性の説明が必要。**

分らない

- ・ TNFDも枠組みが出来たばかりで**活用できるか判断が難しい。**
- ・ TNFD活用を考えているが、**どのような情報が必要か理解できていない。**

※複数回答

- ロジックモデルの作成時、GBFとの連携、及びインプット・アウトカムの特定が難しいといった回答を頂いた。

質問15：ロジックモデルの記載で苦労した点

苦労した点等

GBFとの連携

- **GBFターゲットの内容を理解できておらず、アウトカムからの連携に悩んだ。**
- **アウトプットがGBFに直接関連する場合もある。**
- 自然共生サイト認定基準とGBFターゲットの**関連性が薄い基準もある。**
GBFの9～13（人々のニーズを満たす）と14～23（ツールと解決策）は直接的に結び付けにくい。

インプット・アウトカムの記載

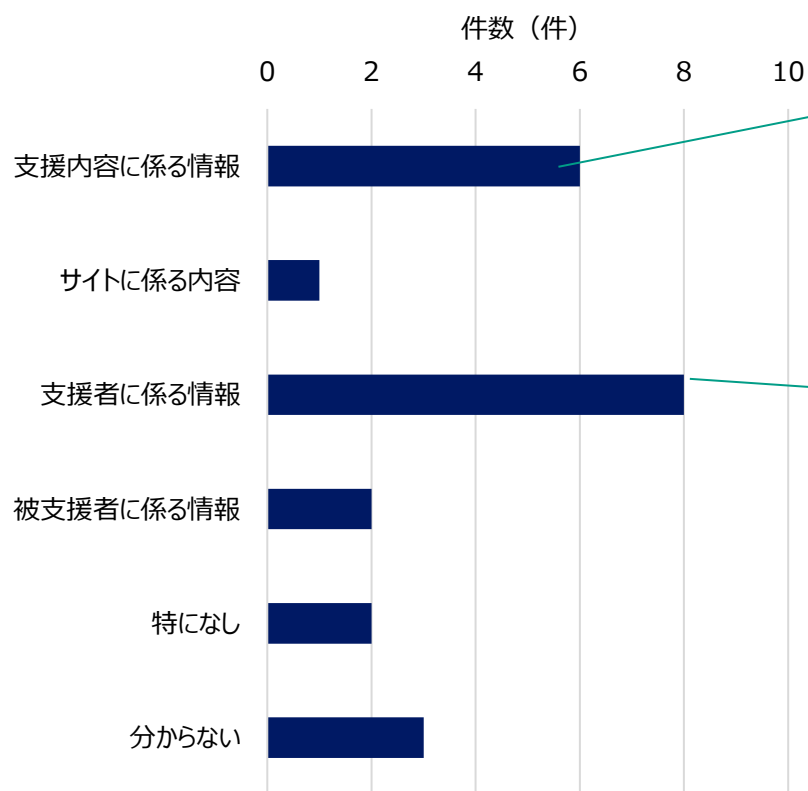
- 記載例に技術的支援に関するものがなかったため、**インプット・アウトカムの特定が難しかった。**
- アウトプット・アウトカムの**独自性の発揮、被支援者にとっての有用性**の表現が難しかった。
- 記載例とは視座レイヤーが異なる事例があり、**どの目線で作成すれば良いか不明瞭である。**

その他

- ロジックモデルが何に繋がるか、同一ページで確認できれば選択しやすい。
- 計画達成に向けて必要な期間を仮説ベースで作成したため、実証したい。
- 被支援者が現場に詳しいため、適宜ヒアリングした。

- 支援証明書の特記事項として記載すべき内容として、「支援による効果」や「本業との結びつき」が主に挙げられた。

質問16：支援証明書の特記事項で記載したい内容



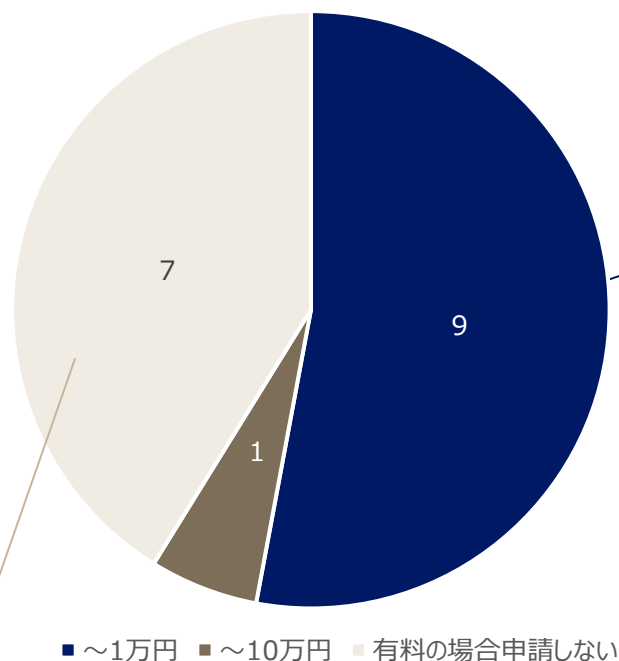
※複数回答

- 支援によるサイトの**活動目的達成への貢献度合**
（支援の効果があつた事実を記載）
- 支援が**地域創生**に結びついているか
- 支援の有効性を**被支援者が記載**
- 支援実施の目的 等

- **本業との結びつき**
- 支援者の営業品目・能力
- 支援者のアピールポイント
- アウトカムで生物多様性クレジット等に言及

- 支援証明書の発行額は手数料として1万円以内、若しくは有料の場合発行しないといった回答が大半を占めた。
- 一方、有料の場合申請しないと回答した団体の中には、発行額以上のインセンティブがあれば申請する旨回答いただいたものがあった。

質問17・18：支援証明書の発行に支払う金額



～1万円

- 支援実績を示せるのは有効だが、コストが課題だと社内での合意形成が難しい。
- 営業利益を想定すると、1案件で記載の額となる。
- 事務手数料として記載。
- 発行による企業側のメリットが明確になれば増額も考えられる。
- 有料でも申請するが、ロジックモデルの記載は必須。
- ESG評価機関や投資家とのESG面談等でFBした際の効果の確認次第で変わる

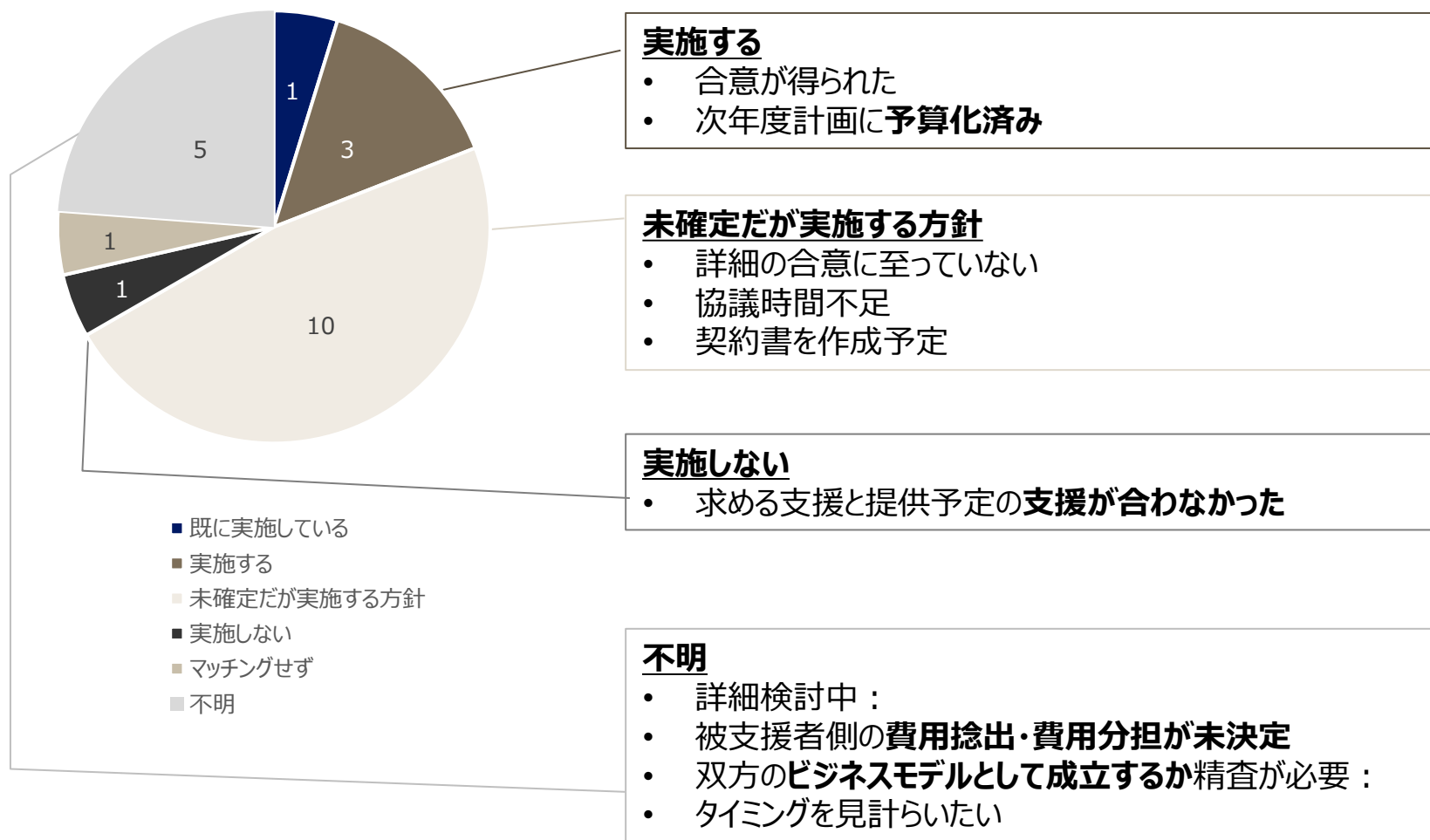
有料の場合申請しない

- 活用イメージが不明瞭。
- 申請の手続きに手間がかかる。電子証明でも良い。
- 発行金額以上のインセンティブがあるなら申請する。
- 相場が分からない。有料でも必要に応じて申請する可能性はある。
- TNFD開示で有効と考えられる場合は有料でも取得したい。

支援者向けアンケート（被支援者への支援実施の可能性）

- 支援実施の可能性につき、半数以上が「既に実施」「実施」「未確定だが実施する方針」と回答いただいた。
- また、不明と回答いただいた理由として、費用面やビジネスモデルに係る懸念事項が挙げられた。

質問19・20：マッチング相手先への支援実施の可能性とその理由



- その他の回答では、マッチングの全体を通した回答をいただいた。

質問21：その他

支援証明書の記載内容

- ・ 支援証明書について、**被支援者からの評価**も必要ではないか。（◎○△のうち、△なら発行しない等）
- ・ 支援証明書を公開する場合、支援内容・支援に係る**契約金額の明示は回避したい**。

支援者・被支援者の打合せ

- ・ 被支援者との**コミュニケーションをとる期間は長く**とりたい。
- ・ 支援者として、複数相手と同時にコミュニケーションをとることは負担であり、**複数で合意を得ても支援には限度がある**。

事前情報

- ・ 支援先の条件を明確化する必要がある。

将来的な方向性

- ・ 支援者によっても活動レベルは様々。将来的に**優良支援者等の認定制度**を作ってほしい。

感想

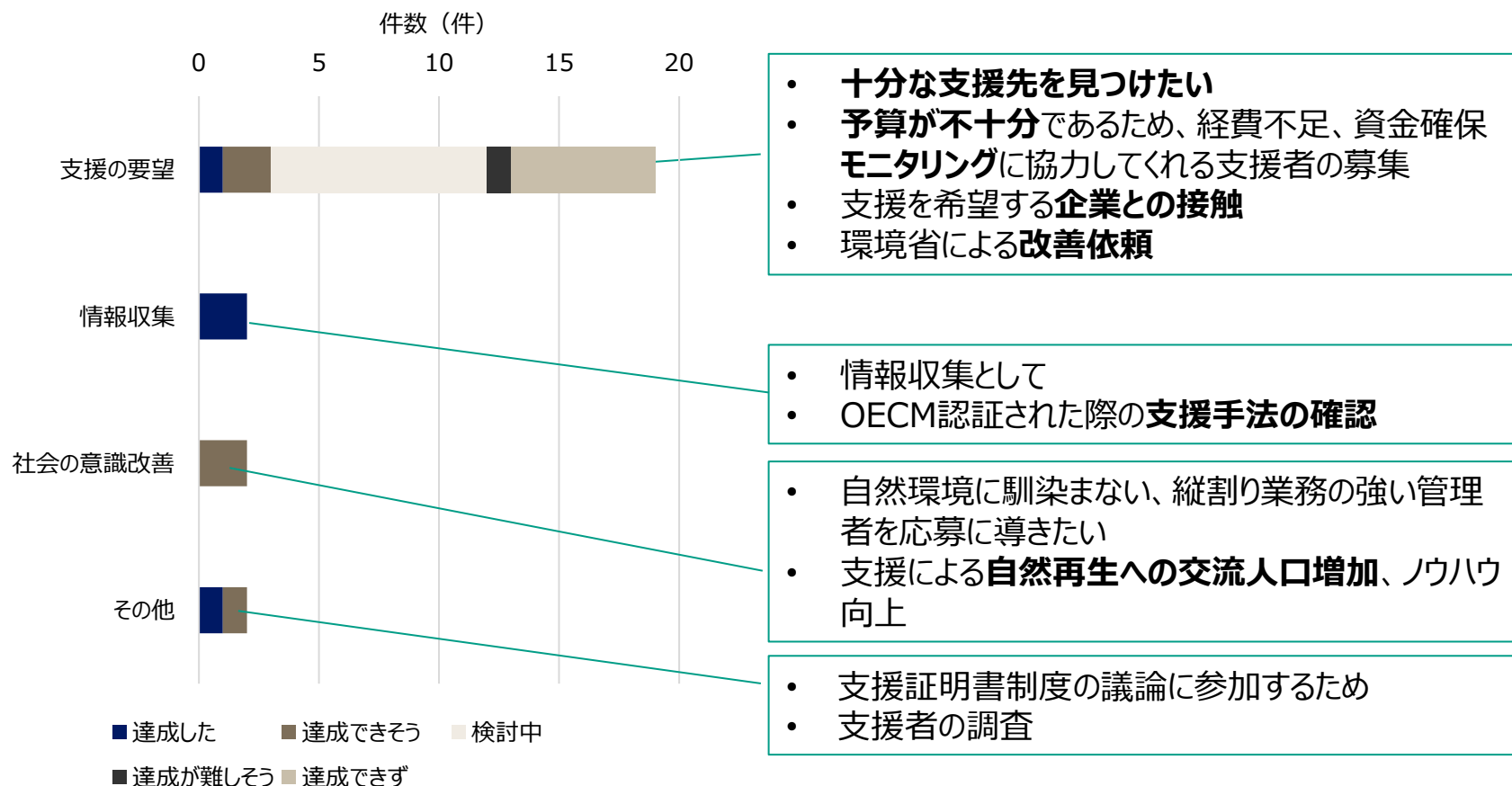
- ・ 今回の試行で、被支援者の課題・要望を把握でき、様々なサイトと繋がりを持つことができる良い機会となった。

被支援者向けアンケートの回答

被支援者向けアンケート（参加目的）

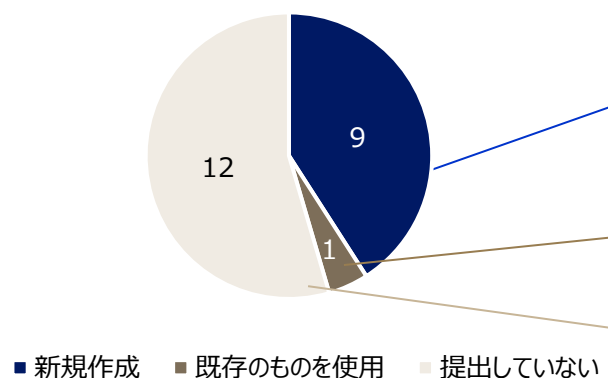
- 支援の要望が主な参加目的でしたが、「情報収集」・「社会全体への意識改善」も挙げられた。

質問 2・3：参加目的、及びその目的は達成できたか



- 動画を作成した被支援者は半数以下であり、課題として作成時の技術不足や動画の活用方法、及び公開範囲が不明である旨回答いただいた。
- 希望する支援の記載内容につき、実施者や無償支援、立地や抱える課題を記載すると良いと回答いただいた。

質問 4・5：動画の提出及び苦勞した点



動画を新規作成した

- **品質・技術面**でのノウハウ不足（予算計上含む）
- 提出までの**期間が短い**
- 支援者の求める内容が不明、**活用方法が不明**

動画は既存のものを使用

- 見えそうな動画が偶然あった

提出していない

- すぐに作成できない

質問 6：希望する支援の伝え方・活動概要の記載の改善点

伝え方

- きちんと伝えられた
- 支援者次第である
- 社内での議論を深くすれば良かった
- より支援を受けるためにも動画は必須である

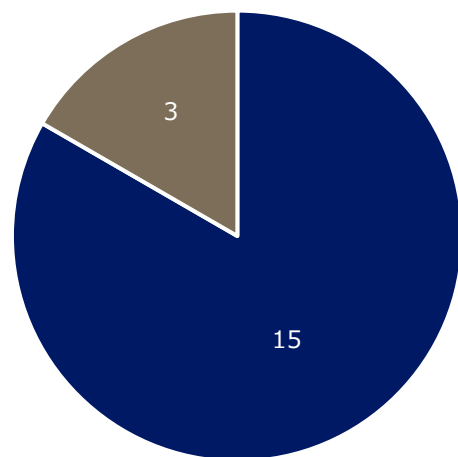
記載内容の改善点

- **実施者を明記**すれば良かった
- **無償支援**である旨記載すれば良かった
- サイトが抱える**課題**の記載
- サイトの**立地情報**
- **環境省から自治体への働きかけの手法**を明記してほしい
- アンケートの内容が**全く生かされていない**

被支援者向けアンケート（支援者との打合せ）

- 支援者との打合せは大半が開催できましたが、一部開催できなかった組み合わせもあった。
- 打合せ前の支援者に関する情報の共有、及び支援内容の相違による議論の難しさが課題として挙げられた。

質問 7・8：支援者との打合せの開催と意見



■ 開催した ■ 一部開催した

良かった点

- メールで十分対応できた
- Web会議等で負担は大幅に軽減できた

支援内容について

- 支援証明書（案）の**作成は手さぐり**
- 中央省庁・自治体の働きかけが不明

打合せ前

- **支援者の意向**が分かれば良い
- **名前以外知らされず**に打合せせざるを得なかった
- 連絡を頂いたのは**3社中1社のみ**

打合せ中

- 無償支援を想定しているか等**答えにくい場面**があった
- **支援内容に相違**があり上手く進まなかった
- **現場を見ながら**打合せできると望ましい

その他

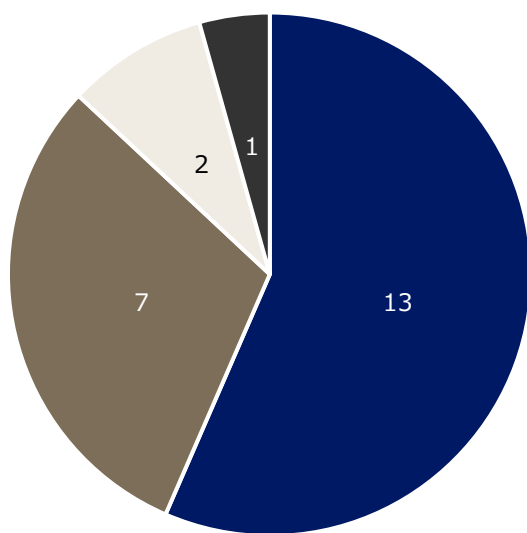
- 期限が短かった
- 特になし

コメント

- 今後の支援検討を継続する組合せが半数を占め、新たな支援内容を協議いただけたものもあった。
- 支援内容の相違や今後が見通せない等の理由で支援を継続しない回答も頂きましたが、別途協力を継続する組合せも現れた。

質問 9・10：支援検討を継続する理由、しない理由

理由



■ 継続する ■ 継続しない ■ 未定 ■ 無回答

支援検討 を継続 する

- ・ 協働の方向性が一致した
- ・ 支援者の提案した技術に実際に使えるものがあった

支援検討 を継続 しない

- ・ **無償支援を希望していたが、有償支援だった**
- ・ **意図していたマッチングがそもそも出来ていない**
- ・ 双方の支援内容に相違があった
- ・ **支援という名目での製品・サービスの営業**
- ・ 支援は継続しないが、負担にならない程度に情報交換は継続する

- 被支援者として、支援証明書制度により支援者数の増加を望んでいる意見があった一方、被支援者によるサイトでの活動も見過ごさないようにしてほしいとご意見いただいた。
- 支援証明書を外部公開する際、非公開に係る懸念とともに、支援者による閲覧により支援状況の偏りが発生しないよう留意する必要がある。

質問11：サイト管理者としての支援証明書制度についての意見

支援者の役割・メリット

- ・ 支援者が、**環境省等の代行**として動けるものであってほしい
- ・ 支援者の**TNFD活用**に**生きる**ものとして明確にしてほしい
- ・ **金銭的な保全活動**を支援する理由となる制度としてほしい
- ・ 支援者の貢献内容・貢献度・金銭面のやり取りが分かれば良い

支援者数増加促進

- ・ **支援者を増やして**保全活動が継続しやすくなると良い。多くの企業が支援する利点としたい。
- ・ 企業等への**支援依頼**に活用したい。

サイトに対する意見

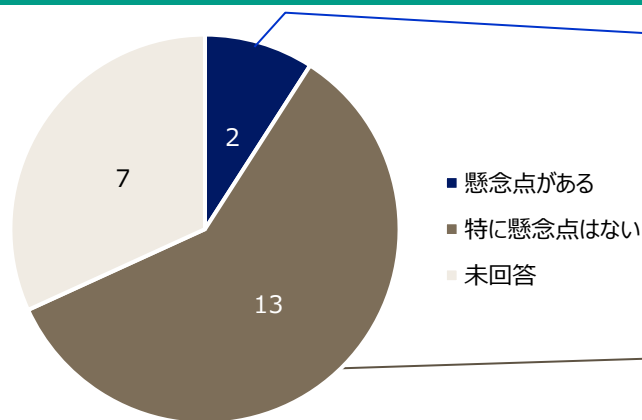
- ・ 従来からの活動や面積的インパクトのある**活動が埋没しない**ようにしてほしい

その他

- ・ **有償支援とビジネスの区別ができる**ように基準があれば良い
- ・ 早急に本格運用してほしい

※複数回答

質問12：支援証明書を外部公開する際の懸念点



懸念点がある

- ・ **正しい文脈**で公開する必要がある
- ・ 支援証明書を公開することで、支援者がより貢献度を示せる支援先を選択し、**支援状況に偏りが生じかねない**

特に懸念点はない

- ・ 双方で確認できれば問題ない
- ・ 将来的に非公開にすべき情報が掲載される可能性もあるため、**部分的に非公開できる規定**があると良い

- 全般的に、支援者の事前情報、及び提供した情報の活用に関する意見を頂いた。

質問13：その他

支援者の事前情報の取得

- ・ マッチング相手の情報は速やかに情報が欲しい。
- ・ マッチング時、支援者の支援内容の情報提供が必要である。

支援の定義

- ・ 支援にあたる内容として、被支援者が金銭を負担しないものとしてほしい。
- ・ 維持管理に役立つ製品・サービスの営業は、マッチングとは別に情報共有できる場を設けると良い。

支援者に提供した情報

- ・ 支援者・被支援者のニーズが噛み合うような方法を検討してほしい。動画がどのように活用されたか不明である。

マッチングの組合せ

- ・ 被支援者が支援を希望する際、支援者の申し出を断ると新たな支援者が出てくるか不安である。被支援者が支援者を決める制度と感じたが、支援者が多い場合には逆の仕組みがあっても良い。

マッチング全般に係る意見

- ・ マッチングは複数年かけて行くと良い。

外部への情報発信

- ・ 支援証明書が企業価値を高めるように制度設計を入念に行ってほしい。参加企業が積極的に生物多様性保全を目指していることを、環境省から外部に発信してほしい。

支援証明書取得後の動き

- ・ 支援証明書を取得した企業が自治体に向けて資金等提供できるようにしてほしい。

その他

- ・ マッチングに限らず、自然共生サイト登録者に対する支援を強化してほしい。